



新しい学校づくりが

新しい学校づくりかわら版 |
2022.11月

始まりました

新しい学校づくりかわら版とは？



このかわら版は、学校づくりに関する情報を市民のみなさんにお届けする広報紙です。新しい学校づくり検討会の内容を始め、学校づくりに向けたさまざまな情報を随時発信していくものです。



新しい学校づくり検討会

令和4年3月に「未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画～学校再編計画～」が策定されました。2030年の開校を目指して、相良地域・榛原地域に1校ずつの義務教育学校（小学生と中学生が同じ場所で9年間を通して同じ教育方針で学ぶことができる学校）をつくります。

新しい学校施設をつくるにあたっては、まず、具体的な施設の計画となる「学校施設基本構想・基本計画」が必要となります。この計画の中に、市民のみなさんの意見を取り入れるため、「新しい学校づくり検討会」を設置しました。



Q 誰が検討するの？



A 次のメンバーで検討します。基本的には榛原地域・相良地域に分かれて検討しますが、合同で行う場合もあります。

学識経験者
2人

学校関係者
10人

CS
ディレクター
2人

幼稚園・
保育園・こども
園の保護者
8人

小中学校の
保護者
10人

自治会
代表者
10人

企業代表者
4人



Q 何を検討するの？



A 学校ごとのコンセプト、通学方法、施設の機能（校舎や教室の形、体育館・教室の数など）、施設の配置、動線などについて、市の案を基に検討します。

市の案は、ワークショップ、アンケート、ヒアリングなどで聞いた意見を反映してつくり
ます。

第1回新しい学校づくり検討会を開催しました



令和4年10月21日(金)に第1回新しい学校づくり検討会を榛原地域・相良地域合同で開催しました。36人の委員が出席し、市の情報提供を受けた後、「新しい学校で大切にしたいこと」をテーマに、榛原地域3グループ、相良地域4グループに分かれてグループワークを行いました。

【各グループから出された新しい学校で大切にしたい思い】

- ・新しい伝統をつくる
- ・安心、安全
- ・学力の保証
- ・地域とのつながり
- ・人との交流
- ・子どもたちが行きたいと思う
- ・子どもたちの生きがいを守る
- ・日本でここにしかない など

みなさんのたくさんの思いが共有されました。意見の1つ1つをデータ化し、学校のコンセプトに活かします。

次回は、今後の議論を深めるために、先進地視察を予定しています。



新しい学校づくり検討会の今後のスケジュール(案)



	10/21 (金)	11/22 (火)	12/22 (木)	2/9(木)	R5年度 5月頃	7月頃	9月頃	11月頃	12~1月頃
検討会	第1回 学校のコンセプト(合同・WS)	先進地視察 愛知県瀬戸市立にじの丘学園	第2回 通学方法(対象学年・範囲等)	第3・4・5回 学校施設の機能(必要教室・複合化等) 施設配置・動線・ゾーニング		第6回 基本構想・基本計画案	第7回 基本構想・基本計画最終チェック	報告会	

反映

検討会に向けた意見聴取

子ども
・施設の機能・動線

保護者
・通学方法・施設の機能・動線

教職員
・施設の機能・配置・動線等

地域・企業
・施設の機能(複合化多機能化等)

※ 回数や内容は必要に応じて変更する場合があります

新しい学校づくり検討会は、令和4・5年度の2年間に予定しています。多くの方の意見を反映した学校をつくるために、さまざまな形で意見を聞きながら進めていきます。

学校再編計画
の詳細はこちら

